

備後

2024(令和6)年10月10日

教区報

第185号



親鸞聖人御誕生
50
立教開宗
800



CONTENTS

- ◆ 役員改選
- ◆ 公聴会
- ◆ 武蔵野大学と高楠順次郎
- ◆ 同朋講座
- ◆ News&活用情報
- ◆ 予報・インフォメーション



東京武蔵野大学が創立100周年



備後出身の念仏者
世界的な仏教学者
高楠順次郎

表紙は、武蔵野大学(有明キャンパス)
創設者 高楠順次郎 博士

▽前号につづき、新役員の改選についてご報告いたします。

ビハーラ備後

(敬称略)

会長

世 羅組 了安寺 阿部 司苑

副会長

沼隈西組 万福寺 杉原 静子

三 谿組 善徳寺 長谷川さとみ

幹事

沼隈西組 正藏坊 松岡 邦子

沼隈南組 光林寺 天地 喜美子

三 次組 西覺寺 伊川 大慶

監査

御調西組 梅林寺 盛田 由美子

世 羅組 法泉坊 宮丸 こずえ

仏教壮年会連盟

理事長

比 婆組 金秀寺 宇山 茂之

副理事長

御調東組 大通寺 神田 敏行

芦 田組 正満寺 中山 義博

理事

深 津組 正福寺 血海 眞一

鴨川北組 宝泉寺 藤原 秀勝

芦 田組 明浄寺 石岡 清貴

三 谿組 立泉寺 鷺尾 操

比 婆組 勝光寺 増田 徳夫
三 次組 明正寺 坂田 公治
三 次組 光西寺 尾崎 義男
御調東組 照善寺 清竹 政志
御調西組 梅林寺 梶畑 孝明
世 羅組 善行寺 土居 千明

仏教青年会連盟

会長

深 津組 崇興寺 麻生 敏弘

青年教化指導員

深 津組 慶満寺 松井 一昭

深 津組 崇興寺 枝廣 慶樹

深 津組 崇興寺 枝廣 大智

鴨川組 勝願寺 足利 亮水

御調東組 照源寺 久本 晃真

少年連盟

委員長

世 羅組 照光寺 脇本 寿真

副委員長

深 津組 光明寺 藤間 幹夫

御調西組 専光寺 藤井 迎朋

監査

深 津組 慶満寺 松井 一昭

三 谿組 善徳寺 長谷川憲章

委員

中 組 光榮寺 佐藤 知水

深 津組 崇興寺 枝廣 慶樹

鴨川北組 照専寺 佐々木弘海

沼隈西組 大東坊 那須 智雄
沼隈南組 南禅坊 高階 百壽
芦 田組 明浄寺 立神 智弘
神 石組 金藏寺 杉原 秀晃
比 婆組 妙延寺 尾野 義顕
三 次組 西覺寺 伊川 大慶
御調東組 大通寺 大淵 英範
世 羅組 法泉坊 毛利 令就
世 羅組 了安寺 阿部 司苑

法式法務専門委員会

委員長

芦 田組 明浄寺 立神 義昭

深 津組 眞光寺 脇本 裕樹

沼隈西組 正圓寺 石川 知全

沼隈西組 万福寺 河村 祐昭

芦 田組 光明寺 千葉 隆誓

神 石組 正光寺 和泉 裕生

御調東組 最圓寺 三浦 義純

御調東組 照源寺 久本 晃道

御調西組 光徳寺 藤田 徹信

教区報専門委員会

委員長

御調西組 専光寺 藤井 迎朋

備中里組 蓮乗寺 田井 智彦

奥 組 浄福寺 山下 瑞円

深 津組 慶満寺 松井 一昭

FM専門委員会

委員長

世 羅組 善行寺 眞澄 慎一

中 組 光榮寺 佐藤 知水

深 津組 崇興寺 枝廣 慶樹

鴨川組 勝願寺 足利 義信

鴨川北組 圓福寺 三條 義見

IT専門委員会

委員長

三 次組 専正寺 深水 顕真

深 津組 専光寺 藤井 明德

深 津組 光明寺 藤間 幹夫

芦 田組 慶照寺 田坂 英尊

神 石組 金藏寺 杉原 秀晃

神 石組 法泉寺 川上 順之

御調東組 照源寺 久本 晃道

御調西組 専光寺 藤井 迎朋

更生保護事業協会

支部長

備後教区教務所長 岡寄 秀恵

副支部長
芦田組 徳円寺 田坂 健爾
理事
奥組 教蓮寺 那須 照嗣
鴨川組 浄光寺 小林 章三
沼隈西組 福照坊 岡部 徳雄
比婆組 西念寺 栗原 尚道
三次組 福泉坊 水戸 浩文
御調束組 金剛寺 金岡 親量
世羅組 真行寺 是山 宗憲

▽訂正とお詫び

7月10日発行の教区報184号誌面に掲載しましたお名前に誤りがございました。訂正してお詫び申しあげます。

5頁 組勤式推進員

(誤) 沼隈西組 正圓寺 石川 知全
(正) 沼隈西組 善性寺 藤原 慧尋

11頁 得度許可

(誤) 世羅組 浄鏡寺 太秦 祐祥 (釋祐祥)
(正) 世羅組 浄鏡寺 太秦 佑祥 (釋佑祥)

2024(令和6)年度 公聴会

「賦課基準見直しにかかる総局試案」



8月20日(火)、宗派より弘中貴之総務、佐藤浩紹部長(総合研究所・重点プロジェクト推進室)出向のもと、賦課基準の見直しに向け総局にて作成された「賦課基準の見直しにかかる総局試案(賦課基準試案)」の内容と見直しの趣旨、また検討の経過について説明し、広く寺院関係者からの意見を伺う公聴会が本願寺備後教室にて開催され、44名(現地31名・オンライン13名)が参加した。

まずは弘中総務より、総局試案では昨今の社会状況を踏まえ、これまででの不公平感を是正するうえで基準の見直しを図りたい旨挨拶がなされ、賦課基準試案についての説明動画を視聴したのち、佐藤部長より備後教区における各種数値を参考とした補足説明が行われた。休憩をはさんだ後の質疑では、試案にて示された現行賦課制度からの変更点や寺院収入から算出する護持指数算出における数字的根拠や指数調整について、また、今後のタイムスケジュール等について質問がなされた。

今後は、公聴会での各教区よりの意見を踏まえて総局案が検討される予定である。



表紙写真について

東京にある宗門校の武蔵野大学は、本年令和6年(2024)に創立百周年を迎えます。その創設者は高楠順次郎博士。

世界的に知られる程の功績を為した仏教学者ですが、年月も経過して出身地の三原では詳細を知る人も少なくなってきました。

武蔵野大学では百周年にあたり学祖の生涯にわたる業績を研究・顕彰するために書籍や映像を制作し、随時、出版公開しておられますので、備後教区報においても、今号と次号にかけて武蔵野大学と高楠の関連記事を集めます。

まずは備後の生家(三原市八幡町箒。三原久井ICより北東、約2.5km。西王寺と御調ダムを結ぶ406号線(道筋)に建つ顕彰碑(勝如門主筆による題字、裏山に高楠の分骨もされた墓所もある)を紹介していきます。次頁に全文を掲載。



※左記は改行とスペースを増やして三段に分けたが、顕彰碑の原文そのままを掲載するようにした。但し、年代表記および括弧を(青字)にて、補足・注釈をしています。

高楠順次郎先生顕彰碑

故日本学士院会員 東京大学名誉教授 正三位勲二等
文学博士 高楠順次郎先生 顕彰碑銘

先生は沢井梅太郎(初めは沢井家の梅太郎といひ)

慶応2年1 5月17日(に生まれた)

広島県御調郡八幡村字篤 観三の長男

天性穎悟(賢くて才知があつた)

5歳より祖父清齋に漢籍(漢文書籍)を学ぶ

明治8年10 八幡村宮内小学 崇敬館に入學

明治13年15 宮内小学校教師に就任

初任の俸給を祖父に献ず 此間(この間に)

龍山会(政治研究会)を創めて政治に通じ

起風館(国学研究会)を立てて国語を極め

仏教会(廃仏に対抗)を興して講演せり

明治18年20 京都に出でて

普通教校(本願寺立。現・龍谷大学)に学ぶ

明治20年22 高楠霜子と結婚して高楠順次郎と

改む(改名する) 在学中

反省会雑誌(現・中央公論)を出し

欧米仏教通信社を立てて仏教事情を紹介す

明治23年25 英国オックスフォード大学に入り

明治28年30 独逸(ドイツ)に学び

翌年7月 ドクトル・フィロソフイエ

9月 オックスフォード大学より

ドクトル・オブ・レターズを受く

明治45年62 帝国学士院 会員となる

昭和2年47 3月 東大教授 停年退官

7月 名誉教授 此前後(この前後に)

東南アジア インド ギリシャ等に出張

東京外国語学校(現・東京外国語大学1900~1908に長)

中央商業学校(現・中央学院大学1900設立に関与)

武蔵野女子学院(現・武蔵野大学、1924に設立)

東洋大学(井上田了の設立、学長1931~1934)

千代田女子専門学校(島地黙雷の設立校、1943に長)

(これら学校の学長や設立に関与)の長となる

多くの仏教青年会(東大仏教青年会など)を宰し

大正新修大蔵経 100巻刊行(各地の種々漢訳

仏典を調査・収集・校訂して日本初の大蔵経総集を刊行)

漢訳本及び梵本を英仏和訳し

(漢訳、梵語の経典を英語、仏語、日本語に翻訳)

幾百の研究を発表し、ウパニシャッド全訳

(仏教の源流を探り古代哲学を研究。師の独ドイッセン

が60種の翻訳した事に對し、126種翻訳して激賞された)

南伝大蔵経 完訳(スリランカ、東南アジア等に伝

承する南伝の大蔵経を調査校訂)等 出版

昭和4年64 ジュリアン賞(フランス学士院の賞)

又、朝日賞(朝日新聞賞)

野間賞(野間文芸賞)

昭和19年79 文化勲章授受(文化に顕著な功績で叙勲)

昭和13年73 ハワイ大学講義 東西思想交流に努む

昭和20年6月28日病により薨去(正三位以上の死去)

7月18日日本葬 西本願寺法主猊下より

宏学院釈成の法名 染筆下附

天皇陛下より 幣帛(供物)を賜り

御代理を差遣はさる

先生 性純温敏(先生は、性格は純粹で気が利く)

学 東西を兼ね

識 古今を貫き

世人に接するや

真情流露(うそ偽りない真の気持が流れ出て)

後進を導くや

周密嚴恕(厳しさと慈しみも周到緻密に行き届いて)

人服し資萃り(人は敬服して物資も集まり)

徳化 広く且つ深し

(先生の高徳による感化は広くて深い)

剩へ(あまつさえ)幾百の研究を発表して

蒙を東西に啓き(東洋・西洋を啓発し)

諸種の事業を遂行して 普く世俗を利す

蓋し仏教精神の具現を 一に先生に於て見る

(思うに先生こそ、仏教精神の具現であろう)

今や逝きぬ 嗚呼悲しい哉

本日 示寂十五周忌を期し

郷党同志 相謀り

先生生誕の地を卜し(さだめて)

茲に其徳を後昆に顕彰せんとす

(後世の比丘・比丘尼に知らしめん)

昭和35年6月28日

門生 宇井伯寿 謹誌



味楽愛法

青年布教使による法話 第7回

「ジャガイモの悲劇」



神石組 法泉寺
川上 順之

『はずれ者が進化をつくる』という本の中で、19世紀のアイランドで起こった食料危機が紹介されています。ジャガイモの不作が発端になったことから、「ジャガイモの悲劇」といわれています。もともとジャガイモはアンデス地方が原産地で、アイルランドにも伝わり重要な食糧の一つになっていました。そのようななか、ジャガイモの病気が大流行してしまうのです。

当時、アイルランドでは、収穫量の多いジャガイモが最も優れた品種として多く栽培されていました。しかし、それには弱点があり、胴枯病（どうがれびょう）という病気には弱かったのです。すると、実際にその病気になってしまい、アイルランド全土のジャガイモは壊滅状態に陥り、食料危機にまで発展してしまうのです。

では、原産地であるアンデス地方はどうであったかというところ、そのような状態に陥ることはなかったのです。収穫量の多い品種もあれば、収穫量が劣るけれども病気に強い品種を植えたり、この病気には弱いけれども、違う病気には強い品種を植えたり、本来ある様々な品種を植えていたことによつて、アイルランドのような悲劇は起きなかったのです。自然界の生き物には個性があつ

て当たり前です。しかし、人間の都合によつて、「収穫量が多い」という一つの個性だけを優秀なものとして選んだ結果、アイルランドでは悲劇が起きたのです。

私たち人間も自然界の生き物であり、個性があつて当たり前です。一つの個性のみを優秀として認めたらば、アイルランドのジャガイモと同じように壊滅状態に陥ります。つまり、本来、自然界には優劣という価値はなく個性（ちがい）が存在するのみであり、その個性（ちがい）によつて世界は成り立っているということをジャガイモの悲劇は伝えてくれているのです。

金子みすゞさんは詩のなかで

「私が両手をひろげても、
お空はちつとも飛べないが、
飛べる小鳥は私のように、
地面（ぢべた）を速くは走れない。
私がかからだをゆすつても、
きれいな音は出ないけど、
あの鳴る鈴は私のように、
たくさんな唄は知らないよ。
鈴と、小鳥と、それから私、
みんなちがつて、
みんないい」と詠われています。

この詩は、阿弥陀さまの優劣のない世界を表現されているように思えます。「みんないい」「いい」とは、優劣での「いい」ではなく、そのような分別を超えた「いのちの輝き、尊さ」を、「いい」という言葉で表現されているのです。他人（ひと）との比較のなかで生きている私たちには、必ず優劣がつきまとい、それが苦しみとなります。しかし、その優劣は、人間の自己中心的な考えによつて作り出された価値であり、本来そこには個性（ちがい）しか存在しないのです。

そのちがいをちがいのままに、あるがままの尊い存在とみてくださり、そのいのちを必ず救うとはたらいてくださっているのが阿弥陀さまです。私たちは、そのお心に身をおいたとき、本当の安心を得ることができるとです。



備後教区 同朋講座

去る9月15日(日)本願寺備後教堂において、同朋講座が開催された。参加者21名。同朋講座は、様々な人権問題や平和問題に念仏者として、学びを深めるため毎年開催されている。



▶アシユリー・サウザーさん

「ガザに住んだ経験から」

本年度は、東広島市にある武田学園で、「平和学」を教える教師として活動されているアシユリー・サウザーさんより、NGOとしてガザに滞在された経験をもとに、ガザの歴史やそこに暮らす人々との交流と現状についてお話しいただいた。また現在、広島市立大学大学院で芸術を学ぶ学生生活を送りながら、原爆ドーム前でパレスチナ自治区へのイスラエルの攻撃に抗議の意を訴え続けているレベッカマリア・ゴールドシュミットさんから、なぜユダヤ系アメリカ人でありながら、パレスチナを支持するのかについて伺った。

サウザーさんは、二十数年前、地中海に面した砂浜で一緒に相撲を取って遊んだ子どもたち、YMCAのコートでバスケットボールの試合をした友人たちが、今どうなったのかについて話された。一緒に相撲を取った少年は、一生懸命勉強して「国境なき医師団」の医師になり、2023年10月20日、病院が攻撃されたとき、患者を見捨てることは出来ないとい院内に残り亡くなった。

また、バスケットボールの試合を楽しんだ友人の子どもさんも、ガザ南部で避難中爆撃に合い、爆弾の破片が腹部を貫通し亡くなったと言う。

ゴールドシュミットさんは、ユダヤ人

「なぜ私は反シオニストユダヤ人としてパレスチナ解放を支持するか」

学校でイスラエルの文化・教育で育ち、高校に入るまで、ユダヤ人が安心して暮らすためにイスラエルという国が存在するということに疑問を持たなかった。高校生の時、中南米やフィリピンの歴史を学ぶ中で、圧政に抵抗する住民をみて、イスラエルはどうかと徐々に疑問を持ち始めた。実際にパレスチナに入り教えられてきたことと全く違う現実にショックを受け、疑問は確信に変わった。

何が大事なのかについて、お二人の意見は共通していた。人にはそれぞれストーリー(物語)があり、世界がある。それが大事にされるべきで、その世界を無くす(殺す)ということとは、全世界の人を殺すことであると。参加者の中には、「親鸞一人がため」という言葉を想起された方もあるかもしれない。



▶レベッカマリア・ゴールドシュミットさん



更生保護

更生保護の成り立ちと本願寺

7月12日(金)、備後教区更生保護事業協会総会・研修会を開催した。教区内の保護司をつとめている寺院関係者の多くが出席され、広島保護観察所長の古賀正明先生より、「更生保護の成り立ちと本願寺。そして、これから」と題して講義をいただいた。近代的な更生保護のルーツや本願寺との関わり、保護司に期待することを教示いただき、有意義な研修会となった。



令和6)年度 第4連区布教使研修

News & 活動情報

布教団 第4連区布教使研修会

7月1日(月)～2日(火)の2日間、安芸教区布教団担当による第4連区布教使研修会がオリエンタルホテル広島にて開催された。1日目は、「み教えと差別の現実」差別表現からの学び3・障害者差別について」をテーマに布教団連合連区同朋研修講師の伯水永雄先生(高岡教区氷見西組明泉寺住職)より講義をいただいた。さらに、本講師である本願寺派勸学、相馬一意先生(東京教区茨城西組西光寺住職)からは、「如来蔵(仏性)思想の概要」をご教示いただいた。2日目は、本講師の講義を受けてのパネルディスカッションが行われ、布教・研鑽の場となった。

備後教区 特別布教大会



布教団

7月13日(土)、御調西組正明寺(沼限純住職)を会所に、当山孟蘭盆会法座併修備後教区布教団特別布教大会を開催させていただいた。布教団からの講師は、朝席に

- 金岡恒宣団員(御調東組金剛寺)
 - 山名諒子団員(芦田組西圓寺)
 - 苅屋光影団員(深津組光行寺)
- 続く昼席には、
- 島津恵航団員(世羅組正満寺)
 - 田坂英尊団員(芦田組慶照寺)
 - 那須英信参与(沼隈南組善正寺)
- にお取り次ぎいただき、一日を通してお念仏のみ教えを聞かせていただくご縁となった。

少年連盟

子ども若者ご縁づくり

モルックを体験しよう

7月18日(木)、備後教区少年連盟指導者研修会並びに子ども・若者ご縁づくり公開講座を併催という形で開催した。

ご講師に、モルック広島代表の香川陽子先生にお越しいただき、フィンランドから伝わった「モルック」というスポーツを体験した。参加者は11名の参加であった。少年連盟では、お寺の子ども会等で活用できるよう、モルック一式計4セットを備品として購入、貸し出しも随時行っている。



モルックの貸出は 備後教務所・少年連盟へ 子ども会、行事などで是非 活用ください





社会的役割と可能性

7月22日(月)、本願寺備後教
堂にて、ビハール備後総会・公開
講座を開催した。

講座講師に、中国地方臨床宗教
師会副代表の堀靖史先生(安芸教
区志和組光源寺住職)をお招き
し、『臨床宗教師について』(真
宗僧侶の社会的役割と可能性の再
考)をテーマに講義をいただき
た。臨床宗教師として活動するこ
とは、布教・宗教勧誘を目的とせ
ず、相手の価値観や人生観、信仰
を尊重しながら心のケアに取り組
むこととお教えいただいた。

また、様々な場面で一人で悩ん
でいる方の心に寄り添うことが、
私達一人ひとりにとって大切なこ
とであるご教示いただき、学び
多い講座となった。

仏壯連盟

三谿組で夏期研修会

7月28日(土)、三谿組照善坊(福
間真也住職)を会所に仏壯連盟夏
期研修会を開催し、教区内各地よ
り78名が参加した。

ご講師は、本願寺派布教使・備
後教区布教団副団長の田井智彦先
生(備中里組蓮乗寺住職)にお越
しいただき、「涙に宿る仏あり」
のご講題のもと、午前中はご法話
をいただき、午後からは、事前に
参加者の方よりいただいた質問や
日々の悩みなどに対して回答いた
された。



保育連盟

中四国ブロック大学講座

7月30日(火)〜31日(水)、本
願寺山口別院にて中四国ブロック
第45回まことの保育大学講座が開
催された。1日目は、本願寺派保
育連盟教育原理委員会委員長の鷲
尾純一先生に「ほとけの子 みん
なちがってみんない笑顔」と
いうご講題で講義をいただいた。

2日目は、大阪社会医学研究所
顧問である重田博正先生に「保育
職場のストレスと職場づくり」と
いうご講題で、現場のストレスや
悩みなどについてご講義いただい
た。参加者は全体109名で、う
ち備後教区4名の参加であった。



教区月報

月々の活動記録

7月 (July)

1日	第4連区布教使研修会 (安芸教区 2日)
4日	おつとめ教室・勤式練習会 組長会
8日	組長会
11日	教堂常例法座
12日	更生保護事業協会総会・研修会
13日	布教団特別布教大会 (御調西組正明寺)
17日	前進座特別公演「花ごぶし」
18日	少年連盟総会・指導者研修会
18日	子ども若者ご縁づくり公開講座
18日	第4連区ビハール連絡協議会 (安芸教区 19日)
19日	門信徒部会
20日	第4連区仏青連絡協議会 (安芸教区 21日)
22日	ビハール備後総会・公開講座 同朋社会部会
23日	同朋社会部会
25日	教堂備品譲渡抽選会
26日	門徒推進員のつどい
28日	仏壯連盟夏期研修会 (三谿組照善坊)
30日	実践運動事業検討委員会
30日	平和のつどい実行委員会
30日	中四国ブロックまことの保育 大学講座(山口別院 31日)

子ども若者のご縁づくり

ご縁づくりサポーター協議会

9月6日(金) 本願寺備後教堂にて、子ども・若者のご縁づくりサポーター協議会が開催された。参加者は、ご縁づくり推進委員と各組に2名就任いただいているサポーター(チーフ・サブ)で20名の参加があった。協議内容は、各組におけるご縁づくりの推進状況である。状況を共有し、今後の活動に活かしていきたい。



仏壮連盟

仏壮セミナーで石風呂



9月7日(土)、山口教区引受のもと、中四国ブロック仏壮セミナーが開催された。研修は、山口市徳地岸見にある「岸見の石風呂」に入り、参加者で各々の仏壮活動について話し合った。その後、岸見研修センターに移動し、北山祐章仏壮連盟講師(沼隈南組光源寺住職)のご法話をいただいた。



▲ 仏壮セミナーにて石風呂



▲ まことの保育 大学講座

第44回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要



9月18日(水)、東京の国立千鳥ヶ淵戦没者墓苑にて千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要が勤修された。

この法要は、戦争によって尊いいのちを失われたすべての方がたを追悼し、悲惨な戦争を再び繰り返してはならないという平和への決意を確認するため、昭和56年(1981)から毎年勤修しており、本年度、第44回目を迎える。新型コロナウイルス感染症の影響により、中止されていた全国からの法要出勤も再開し、備後教区からは岡寄秀恵教務所長が結衆、山名淳教区会議長(芦田組西圓寺)が列衆として出勤、また常光和信元教区会議長(三次組覚善寺)が参拝した。

8月 (August)

- 11日 教堂常例法座
- 12日 休館 (16日)
- 20日 公聴会
- 22日 広報伝道部会
- 22日 教区報専門委員会
- 27日 門徒総代世話人会
- 29日 重点プロジェクトリーダー
- 31日 研修協議会(オンライン)
- 31日 仏壮理事会

9月 (September)

- 2日 門信徒部会
- 4日 第4連区教区会議長・組長代表・教務所長協議会(安芸教区)
- 5日 仏婦常任委員会
- 6日 ご縁づくりサポーター協議会
- 7日 第4連区仏壮セミナー(山口教区 ~ 8日)
- 11日 教堂常例法座
- 12日 組勤式推進員協議会
- 12日 前期勤式研修会
- 13日 おつとめ教室・勤式練習会
- 15日 同朋講座
- 18日 44回千鳥ヶ淵全戦没者追悼法要
- 20日 教区賦課基準等調整委員会
- 20日 常備会
- 25日 全国寺族青年野球大会(~27日)
- 26日 重点プロジェクト協議会
- 27日 中四国仏婦大会(山陰教区)
- 30日 平和のつどい実行委員会

勤式 前期勤式研修会

9月12日(木)、本願寺備後教区にて前期勤式研修会を開催し、教区内僧侶28名が参加した。

講師には昨年度に引き続き、本願寺式務部会役者の工藤惇昭先生に出講いただいた。「本願寺御正忌報恩講」と題し、御正忌前日に非公開にて行われる大御身や期間中の荘厳作法について、また法式故実や日常の仏事作法等、事前に募集した参加者からの質問の解説も交えながらお話しいただいた。



BINGO's DAY ぜひお参りください！お待ちしております (式務部)



備後教区では、一年に一度本山本願寺の御正忌報恩講に出勤させていただき、親鸞聖人のご遺徳をしのび、お念仏のみ教えに出遇えたよるこびと愛山護法のおもいを新たにする機縁とすべく、来年1月9日の速夜法要出勤(列衆及び讃嘆衆)について教区内寺院へ案内しております。

おそらく全教区で初の 教区公式の行事です

今後は毎年恒例で出勤し、1月9日は「備後の日」として教区内で共有できればと思います。列衆は僧籍のお方なら誰でも出勤できます。正座困難な方も椅子席にて出勤が可能です。詳細については、寺院宛てに送付の募集案内を確認いただくか、教務所まで直接お問い合わせください。

重点プロジェクト

9月26日(木)、本願寺備後教区において、重点プロジェクトリーダー・サブリーダーの協議会が開催された。一條博堂教区重点プロジェクトリーダーより令和6年度からの宗門全体の実践目標、また備後教区の目標の説明があった。その後、各組より関係の現況報告があり、問題の共有と解決を模索しつつ、更なる推進をはかるための全体協議会を行った。

着用されなくなった 類聚衣体 (僧班衣体 色衣) ありませんか？

本山での法要出勤に際し、貸し出し用の類聚衣体として活用すべく現在着用されなくなった類聚衣体が寺院にございましたら、ぜひ教区へ寄贈くださいますようお願いいたします。



今後の予定

10月 (October)

- 1日 第4連区青年布教使研修会 (山陰教区 2日)
- 3日 真宗講座
- 7日 同朋社会部会
- 7日 環境問題学習会
- 8日 組長会
- 9日 連研のための研究会
- 9日 平和のつどいりハーサル
- 11日 教堂常例法座
- 11日 実践運動中央委員会
- 12日 仏青「寺コン」(世羅組照光寺)
- 15日 教堂責役員総代会
- 16日 IT専門委員会
- 17日 おつとめ教室・勤式練習会
- 18日 ビハーラ備後やすらぎ講座
- 22日 臨時教区会
- 23日 仏婦寺婦実践運動研修会
- 24日 門徒総代会研修会(備後教堂)
- 25日 // 2日目(世羅組照光寺)
- 27日 第4連区門徒推進員実践運動
- 29日 研修会(山陰教区 28日)
- 29日 青年布教大会
- 31日 (二谿組善徳寺 30日)
- 31日 平和のつどい(庄原市民会館)

11月 (November)

- 5日 仏婦連だよりお寺訪問取材

仏婦連盟 九條武子さまのご生涯を「言葉と歌」で

9月27日(金)、松江市の島根県民会館にて、第63回中・四国地区仏教婦人会大会が開催された。コロナウイルスのため、過去2回は中止となり、6年ぶりの大会となったが、「念仏に生かされるよろこびを行動へ」をテーマに各地より多くの会員が集まり、総勢1580名の参加があった。

記念法話では、二人の講師による言葉と歌によるみ教えを味わうという形で、「九條武子さま―その行動の根源にあるもの―」と題して仏婦総連盟講師の小池秀章先生より、その生涯や仏教婦人会創設・女子教育にご尽力された事、シンガーソングライターのちひろさんより武子さまの和歌をメロディーにのせて歌われるのを聴聞した。

また「今福座」による太鼓演奏と山陰教区コーラスがあり、前半



▼ちひろさん ▲小池秀章 師

は美しい曲と言葉に酔いしれるように阿弥陀さまのお慈悲を味わい、後半は一緒に歌いながら大いに盛り上がった。山陰教区の陶山委員長は、このような時代であるからこそ九條武子さまの思いに触れ、お念仏の輪を広げ、次世代につなぐために実践していきたいと思いを述べられ、実りの多い大会となった。尚、備後からは113単位、283名の参加であった。



常例法座 (毎月11日)

出講者(敬称略)

10月 「しなやかに生きる」
福山市新市町 西圓寺 山名 諒子

11月 「わたしは独りではなかった」
三次市西酒屋町源光寺 福岡 玄猷

12月 「会って嬉しや寺の友」
府中市出口町 慶照寺 田坂 英尊

<p>敬 弔</p> <p>世 羅組 西教寺 衆徒 近藤 勉 (7月14日寂)</p> <p>沼隈南組 善行寺 前住職 熊谷 和順 (8月19日寂)</p>	<p>教師授与</p> <p>沼隈西組 萬福寺 松林 学耀 (釋頭耀) (令和6年5月8日付)</p>	<p>得度許可</p> <p>神 石組 正光寺 和泉 倫子 (釈倫紫)</p> <p>世 羅組 真行寺 是山 良恵 (釋誓成) (令和6年6月15日付)</p>
--	---	--

(敬称略) おめでとう ございます
お悔やみ申し 上げます
おめでとう ございます

12月 (December)

6日 門推聞法会(御調東組照善寺)

11日 教堂常例法座

18日 おつとめ教室・勤式練習会

18日 第12回ビハラ活動連区集会 (安芸教区 19日)

19日 仏婦おみがき奉仕

29日 本願寺備後教堂報恩講法要

6日 ビハラ備後実践学習 (寿園・相扶園)

11日 教堂常例法座

19日 重点プロリーダー協議会

28日 教堂休館日(1月6日)

寄 贈

御調東組照源寺(久本晃道)様より
類聚衣体 (列座) 1衣
列座切袴 1腰
を寄贈いただきました。

「備龍会」様より
親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要記念五条袈裟3領を寄贈いただきました。

ありがとうございます ございます

備後教区 門徒総代会研修会 (2会場)

10月24日(木) 10:00～15:30
本願寺備後教堂 (第1会場)

25日(金) 10:00～15:30
世羅組 照光寺 (第2会場)

講師 本願寺派布教使 **田井智彦先生** (備中里組蓮乗寺住職)

講題 「お浄土ファンクラブ～新しくない真宗百科～」

第28回備後教区 平和のつどい (於 庄原市民会館)

10月31日(木) 13:00～15:45 (受付12:00～)

法要 全戦争犠牲者追悼法要

公演 「We love the EARTH from HIROSHIMA」

沖田孝司さん (ヴィオラ奏者) 沖田千春さん (ピアノ奏者)

本願寺備後教堂 報恩講法要 (於 備後教堂)

11月29日(金) ※法要の様子はオンラインでライブ配信いたします

10:00～初座法要「宗祖讃仰作法 音楽法要」 引続き 御俗姓 拝読

13:30～満座法要「大師影供作法」 引続き 御伝鈔 拝読

講師 **赤井智顕先生** (兵庫教区阪神西組 善教寺副住職)

本願寺派布教使 相愛大学非常勤講師 NHK文化センター講師

講題 「恩に報いるということ」



先日の「備後教区報」編集会議は、久しぶりにホットな議論の応酬となり面白かった。長引いたコロナ禍、少子高齢化、過疎過密問題の煽りを受けて、恐らく近來稀にみる仏教伝道、そして寺院存続の危機を迎えているのは間違いない。だからこそ白熱のディスカッションだったかと思う

▼何て書くと、時代の流れに翻弄されて慌てている風だが、個人的には現況は何ら不思議は無い。吹けば飛ぶような自坊を預かり、30年前から崖っぷちに立ち続けている思いで来たからだ▼さて、そんな時代に我が教区には全国ナンバーワンと言える活動が2つある事をご存知だろうか? 「仏教青年連盟」と「仏華の会」である。どちらも、間違いなく全国をリードし、他教区には非常に認知されているのだが、共に何故か自教区内ではあまり評価されていないという共通点がある。そしてまた参加にあたって特別な資格等は不要で仏教を今までは違った視点から学べる活動だと思ふ。「ピンチの後にはチャンスあり」とは野球の格言ではあるが、今まで素晴らしい教義体系と檀家制度に胡坐をかいて来た教団、一般寺院が一見苦境に立たされている様で実はいよいよ御開山の時代の仏教伝道原点へと回帰して行っていると思ふのは言い過ぎだろうか▼今こそ垣根を越えて種々の活動の中にも、「生死出ずべき道」を探ってみよう。

(K. M)